

# 令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

報告日 R7年 11月 10日

P T A名		静岡県立袋井特別支援学校 P T A				
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input type="checkbox"/> 中学部	<input type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	332人				

## 1. 使用状況

寄贈物品名	巧技台
使用学年及び人数	小学部1年～6年
使用頻度	体育(体作り单元)で主に低学年が使用 (該当单元月20回程度)
使用状況	<p>○体育のサーキットトレーニングなど、コース内に設置し、昇降用として使用している。</p> <p>○運動会の障害物走レースのコース設置でも毎年使用している。</p>
物品の使用による変化や効果	<p>○1年目同様、知的障害教育低学年の体育で主に使用している。</p> <p>○高さを調整し、児童の運動機能に合わせて使用することができるため、無理のない挑戦ができ、繰り返すことで児童が一人で挑戦することができるようになった。</p> <p>○飛び乗る、飛び降りるといった目的だけでなく、平均台などとも組み合わせることで様々な用途で使用できる。活用幅を増やすことができている。</p> <p>○これまではビールケースと段ボールで作っていたが、巧技台が増えたため教師の負担を減らすことができている。</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>○今後も継続して体育などの外の活動で活用していく。</p> <p>○体育用具と組み合わせてサーキットトレーニングのコース設営において、工夫を加えながら今後も使用していく。</p> <p>○木製のため劣化防止策として小学部倉庫に常時保管する。</p> <p>○要望があれば、他学部にも貸出をしていく。</p>
その他希望や所感など	<p>○活用の幅や機会を更に増やしていきたい。</p>

## 2. 活用の様子



運動機能に合わせて高さを調整して使用しています。この高さに調整できるものは他にありません。平均台よりも横幅があるため児童は安心して渡ることができます。



サーキット運動では、子供のチャレンジ精神を高めるために、様々なコースを設置します。平均台やビールケースなどに固定し、活動の幅を広げながら授業を展開しています。